



平成27年 11月11日(水)～12日(木)の2日間
 国立民族学博物館 第6セミナー室(2階)

みんぱく 若手研究者 奨励セミナー 募集要項

「伝承と身体をめぐる文化人類学」

本年度の若手セミナーでは、本館の機関研究「マテリアリティの人間学」の一環として、文化人類学的視点から伝承と身体の間を追求する研究を幅広く募集します。

ここでいう伝承とは、あるコミュニティや集団を特徴づけているモノ、技術、技能、知識、感性などの人から人への継承を広く指し示しています。個人から見れば、伝承とはあるモノ、技術、技能、知識、感性などの身体化の過程に他なりません。伝承の過程で、伝承の中味、あるいは身体そのものは、どのように作り直されていくのでしょうか。またこのことが、伝承を支える制度や仕組み、さらにはコミュニティや集団そのものを、どのように再生産し変化させていくのでしょうか。コミュニケーション・ツールの多様化が飛躍的に進み、直接対面によるコミュニケーションの頻度が相対的に低下しつつある現代社会における、モノとしての身体と伝承の間をめぐり、さまざまなフィールドの事例から考えます。



■セミナーの内容

- ①本館の共同利用制度の紹介(共同研究(若手)など)
- ②施設案内(図書室、展示場、収蔵庫など)
- ③本館教員による発表(各50分)
 - i) 広瀬 浩二郎「見えない世界をみる身体知
—平家物語から贅女唄へ」
 - ii) 福岡 正太「越境する身体知
—ガムランの伝承を例に」
- ④参加者による研究発表
50分(発表30分、質疑応答20分)の持ち時間のなかで研究発表をおこない、質問・コメントを受ける。

■表彰制度

- ①優秀発表者の選定: 優秀発表者を選定し「みんなく若手セミナー賞」を授与する。受賞者はホームページ等で公表する。
- ②セミナー終了後、参加者の発表要旨はホームページ等で公表する。また、参加者は全員『国立民族学博物館研究報告』(査読有)への投稿資格を得る。

■応募資格

日本国内の大学院博士後期課程の大学院生あるいはPD、または左記に相当する研究歴を有し、積極的に参加する意志を持つ者。

*ただしフィールドワークに基づく研究発表をおこなうことが望ましい。

■募集人数

約8名

■参加費

無料(参加者には人間文化研究機構の規定にもとづき旅費・宿泊費を支給)

■応募方法

以下の書類を応募先に郵送する。

- ①履歴書(所定の様式をホームページよりダウンロード)
【URL】 <http://www.minpaku.ac.jp/offer>
- ②発表要旨(1200字程度で発表内容を記載、様式自由)
- ③その他の要望 *特別な補助等が必要な場合には、その旨明記すること。

■応募/お問い合わせ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 研究協力課共同利用係 宛
kyodok@idc.minpaku.ac.jp
06-6878-8347 (ダイヤルイン)
【URL】 <http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/youngseminar>

■応募締切

平成27年9月18日 [金] 必着

■参加者の決定

応募書類にもとづき本館研究戦略センターにおいて選考の上、10月上旬に通知する。

■その他

- ①セミナー開催期間中の宿泊場所は、各参加者が手配すること。
- ②参加者はセミナーの全日程に参加すること。
- ③応募書類は返却しない。



写真提供: 榎永真佐夫、広瀬浩二郎、福岡正太、前川佐知



国立民族学博物館

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」または「公園東口駅」徒歩約15分
- バス……………[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通ください。

みんなく クリック

[大阪・万博記念公園]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151 (代)
<http://www.minpaku.ac.jp/>

